

TSBで藤原が担当する授業を別の視点から説明！！

—専門学校で学んでいる意味を改めて考えよう—

みなさんが受講する私の科目について、「キャリアデザイン」「ビジネスコミュニケーション(キャリアデザイン)」はキャリア形成系必修科目として、「メンタルヘルス論」は教養科目(選択)として位置づけられています。この科目では、学生のキャリア形成(進路選択、進路決定、進路活動実践、人間と社会とこころの健康など)に係わる基礎知識、技術について学習をします。他に開講されている学科科目の知と知を連結し、進路活動から卒業後の職業生活、学校生活に直結させるための科目でもあります。科目の達成目標を基に自分なりの学習目標を立て、主体的に学び、自らの状況にあわせて実践できるようにしましょう!!

【そもそも専門学校とは…】

学校教育法第124条の規定によって、「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的とする」教育機関を専修学校と言います。専修学校には、高等課程、専門課程、一般課程を設置することができ、このうち専門課程が「専門学校」と称することが出来ます(同法126条第2項)。実践的な職業教育や専門的な技術教育を行う教育機関として、目的に応じて専門分野について学ぶことができます。

授業科目については、「専修学校の専門課程においては、高等学校における教育の基礎の上に、深く専門的な程度において専修学校の教育を施すにふさわしい授業科目を開設しなければならない」とされています(専修学校設置基準第8条2項)。また、「専門課程の授業科目の開設に当たっては、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。」としています(同基準第8条3項)。

【まずは、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)を理解】

専門学校東京スクール・オブ・ビジネスは、「専門学校として常に各業界並びに地域社会の職業人に対するニーズを前向きに捉えながら、近時ますます進展する情報化、グローバル化に伴い変転してやまない社会に即応できる知識、技能の修得」を教育の目標としています。そして、専門教育で学んだ知識を実践で生かすことで、実践者として学んできた専門知識をより深く体得することでできる人材の育成をその意義としています。

【担当科目とディプロマ・ポリシーとの関連性】

専門学校東京スクール・オブ・ビジネスの卒業要件に規定される「職業人として社会での役割を果たせる能力・人間的特性をもっていること」を踏まえ、つぎの点にねらいを定めて授業を構成します。

- キャリア形成に必要な基礎知識と手法を身につけることができる。
- 講義の学習内容を他の科目で学習した専門的な知識と統合し、多様な場面における課題解決に必要な知識と技能として身につけることができる。
- 講義で学んだ内容を職業人としての態度と志向に汎用することができる。

*ディプロマ・ポリシーとは…

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。『卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)』、『教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)』及び『入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)』の策定及び運用に関するガイドライン』中央教育審議会大学分科会大学教育部会より